

(様式 4 : 全対象事業共通)

令和 4 年度第 2 回エネルギー構造高度化・転換理解促進事業評価報告書

補助事業名	令和 4 年度仁木町エネルギー構造高度化・転換に向けたエネルギービジョン及び調査・研究事業
補助事業者名	仁木町
補助事業の概要	第 6 期仁木町総合計画や地域温暖化対策推進計画等を踏まえ、脱炭素に向けたさらなる取り組みの推進に当たり、町内の施設や土地を活用した再生可能エネルギーの量・質・場所の明確化を行い、地域経済の活性化や災害時の熱電供給にも繋がる実効性の高い再生可能エネルギーの導入計画（仁木町再生可能エネルギービジョン）の策定と、仁木町再生可能エネルギービジョンの策定を通じ、来年度の F S 調査・設備導入を見据えた太陽光発電施設に係る基礎調査を実施し、本町が目指す再生可能エネルギーの目標像の策定、地域活性化策・地域課題解決への寄与の検討及び地域のエネルギー消費量の把握を行い、仁木町が目指す姿を確立し、地元事業者や地域住民の脱炭素に向けた意識の醸成を図るとともに、仁木町特有の地域特性下における再生可能エネルギー導入促進・仁木町モデルの構築を図る。
総事業費	31,900,000 円
補助金充当額	31,900,000 円
定量的目標	・ 仁木町再生可能エネルギービジョンの策定 ・ 来年度以降の具体的な F S 調査を実施するための基礎調査
補助事業の成果及び評価（事業毎にあらかじめ設定した事業目標を達成したかなど）	・ <b>仁木町再生可能エネルギービジョンの策定</b> 地域の主要産業である果樹生産やワイン生産などへの活用や有事の際には災害拠点になる役場庁舎等への太陽光発電設置の設置といった地域活性化策・地域課題解決への寄与を検討、活用可能な再生可能エネルギーの量・質・場所の明確化と地域のエネルギー消費量の把握を整理し、仁木町が目指す再生可能エネルギーの目標像として「仁木町再生可能エネルギービジョン」を策定することができた。 ・ <b>来年度以降の具体的な F S 調査を実施するための基礎調査</b> 仁木町再生可能エネルギービジョンの策定を通じ、従来の野立てによる太陽光発電施設による発電量ポテンシャルの把握に加え、従来とは異なる手法である公共施設の壁面を活用した発電、農業残渣を活用したバイオ炭によるバイオマス発電の検討や豪雪地域に対応した垂直型太陽光パネルによる発電施設における発電やソーラーシェアリングを活用した農業利用の可能性調

	査等の基礎調査等を実施。垂直型太陽光発電施設においては、発電の実証実験を行い、実際に発電効果を得られた。	
補助事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約  (※技術開発事業のみ：間接補助を行った場合は、間接補助先を記載)	契約(間接補助)の目的	仁木町再生可能エネルギービジョン策定委託業務
	契約の方法	公募型プロポーザル式
	契約の相手方(間接補助先)	株式会社ワンテーブル
	契約金額(間接補助金額)	31,900,000円
来年度以降の事業見通し	<p>仁木町再生可能エネルギービジョンに基づき、公共施設の屋上や壁面等を活用した太陽光発電設備の設置、農業残渣を活用したバイオ炭によるバイオマス発電の実施等、再生可能エネルギー設備導入に向けた検討調査や実証実験を行う。</p> <p>再生可能エネルギー設備の導入により、2050年カーボンニュートラル社会に向けた持続可能なまちづくりを目指す。</p>	

(備考)

- 1 事業完了した日から3ヶ月以内の提出をお願いします。
- 2 定量的成果目標の欄には補助金応募申請書提出時に設定した成果目標をそれぞれ記載すること。
- 3 補助事業の成果及び評価の欄には、公募要領8. で記載した内容に対応した、定量的な成果実績と評価を記載すること。それ以外にも、定性的な成果実績や、進捗度、利用量並びに効果等といった別の定量的な指標があればできる限り数値を用いて記載すること。
- 4 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。間接補助を行った場合は、記載不要。
- 5 来年度以降の事業見通しの欄は、本事業に来年度以降も補助金を充当しようとする場合のみ記載。